

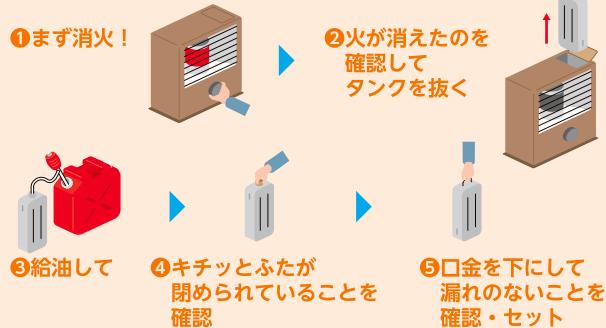
石油暖房機を 安全に正しく使う

8 POINTS

POINT!

1 必ず火を消して給油! 給油後、 タンクの灯油漏れがないか 確認してセット!

- 暖房機の火が消えたことを確認してから、給油をしてください。消火せずに給油すると火災のおそれがあります。
- 給油後、カートリッジタンクの口金は確実に締め、灯油漏れがないかを確認しましょう。



POINT!

2 衣類などの 乾燥はNG!

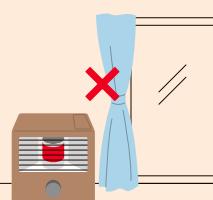
- 石油ストーブの上に衣類などを干して乾燥させないでください。万一衣類が落ちた場合、火災の原因になるおそれがあります。



POINT!

3 カーテンやふとん、 紙類など燃えやすい物を そばに置かない!

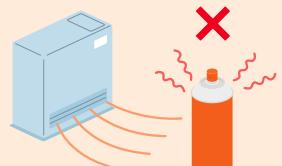
- 燃えやすいものの近くで使うのはやめましょう。
- 石油ストーブの近くや器具内にマッチやライターを置くのはやめましょう。



POINT!

4 スプレー缶を暖房機の上や 温風のある場所に 置かない!

- 熱で缶の圧力が上がり、爆発し、危険です。



POINT!

5 火災の原因に! 農機具などの燃料用のガソリン・ 混合油は絶対に使用しない!



POINT!

6 1時間に 1~2回(1~2分) 換気を行って ください!

- 換気が不十分だと、一酸化炭素などが発生して中毒になるおそれがあります。



換気するときは、換気扇を使用したり、2カ所以上の開口部を設けると効率よく換気できます。

POINT!

7 FF式石油暖房機や 半密閉式石油暖房機は 定期的に点検を!

- 暖房機器には寿命がありますので長期間使用されている機器は点検してください。
- 本体と給排気筒が正しく設置されていないと運転中に排気が室内に漏れて危険です。
- 給排気筒トップのまわりが雪などで塞がれている場合は取りのぞいてください。



POINT!

8 不良灯油は使わないで!

- 変質灯油(持ち越した灯油など)、不純灯油(灯油以外の油・水・ごみが混入した灯油など)を使用しないでください。異常燃焼や故障のおそれがあります。

長期間保管した灯油は変質している可能性があります。

- 昨シーズンから持ち越したもの

- 日光のあたる場所で長期保管したもの

※乳白色のポリタンクはご使用にならないでください。

石油暖房機 安全 チェックリスト

まずはご自分でできる点検を…



チェック項目	石油 ファンヒーター	石油 ストーブ	FF式石油 温風暖房機 半密閉式 石油暖房機	異常時の処置
①洗濯物を上に干していませんか？	✓	✓	✓	洗濯物は機器から離す
②給油は火を消してから行っていますか？	✓	✓	—	必ず火を消して給油
③カーテンの近くで使用していませんか？	✓	✓	✓	機器はカーテンから離す
④機器の周辺の燃えやすいものや布団などはありませんか？	✓	✓	✓	布団や燃えやすいものなどに近づけない
⑤スプレー缶を近くに置いたり、近くで使用していませんか？	✓	✓	✓	スプレー缶を機器の近くに置かない、使用しない
⑥本体から変なにおいはしていませんか？	✓	✓	✓	販売店またはメーカーへ連絡
⑦温風空気取入口フィルターや燃焼空気取入口フィルターにほこりがついていませんか？	✓	—	✓	フィルターを掃除(定期的に)(※1)
⑧温風吹出口にほこりがついていませんか？	✓	—	✓	温風吹出口を掃除(定期的に)(※1)
⑨置台にほこりやゴミがたまっていますか？	✓	✓	✓	置台を掃除
⑩不良灯油を使用していませんか？	✓	✓	✓	不良灯油は使用しない
⑪給排気筒・排気筒がゴミや雪などで詰っていますか？	—	—	✓	ゴミや雪を取り除く
⑫給排気筒・排気筒が外れていますか？	—	—	✓	販売店またはメーカーへ連絡
⑬ゴム製送油管が古くなり、ひび割れなどが入っていたり、接続部の油漏れはありませんか？	—	—	✓	販売店またはメーカーへ連絡

※1 取扱説明書を参照

少しでもおかしいと思ったらお買い上げの販売店または、専門業者にご相談ください。

点検については販売店、石油機器技術管理士(※2)のいるお店又はメーカー(お客様相談センター、サービスセンター等)までお問い合わせください。
点検・整備は有料です。

※2 (一財)日本石油燃焼機器保守協会で行う講習会修了者

石油暖房機には寿命があります。8年経ったら点検・取替えを！



[詳細はこちちらを
ご覧ください](#)